学校番号	３１６

平成３１年度　芸術科［音楽］

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版 ＯＮ！２（音楽之友社）						
副教材等	The Basics of Music２訂版（教育芸術社）・自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で学んだことを基礎にして、「歌う」「楽器を演奏する」「創作する」「聴く」ことを年間通じて学習します。
・楽器はクラシックギターを中心に、ソロやアンサンブルなどに挑戦します。
・学習の到達度は、実技テストや提出物・授業内小テストで評価します。またルーブリックを用いた自己評価により、どれくらいできるようになったかを確認できるようにします。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	既習の音楽理論に加え、発展的な音楽理論や楽曲の知識を元に、新しい表現や技能に関心を持ち、楽しみながら活動することができる。	歌詞の内容や譜面に示された音価や記号から楽曲のイメージや背景を判断して表現することができる。	音楽理論や楽曲の知識をもとに、それを生かした表現をするため、適切な技能を身につけている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを理解しながら、楽曲の文化的・社会的背景や演奏の特徴を理解して鑑賞することができている。
評価方法	観察 提出課題の内容 自己評価	観察 演奏表現 感想シート	演奏表現 自己評価	観察 相互評価 感想シート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	豊かな声でハーモニーを奏でよう	【歌唱】 ふるさと 【ボディ・パーカッション】 On The Beat	○	○	○		a:与えられた課題について、新しい表現や技能に関心を持って、表現に生かすことができる。 b:譜面に示された音価や記号からイメージを感じ取り表現することができる。 c:身体を楽器として意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 演奏表現 自己評価
	クラシックギターを演奏しよう	【器楽】 かっこう ぶんぶんぶん	○		○		a:与えられた課題について、楽しみながら積極的に取り組むことができる。 b:譜面に示された音価や記号に従い、演奏することができる。 c:奏法を正しく理解し、楽曲のイメージをつかみながら演奏する技能を身につけている。	観察 演奏表現 自己評価
	幹音の音程を理解しよう	【楽典】 度数を正しく理解する 完全系・長短系の音程の理解	○	○			a:発展的な音楽倫論の知識を積極的に身につけようとする。 b:音楽理論の知識を理解し、楽曲の構成について考察しようとする。	提出課題の内容
2学期	二部合唱を楽しもう	【歌唱】 【鑑賞】 Joyful、Joyful	○	○		○	a: 新しい表現やハーモニーをつくる楽しさを感じ取り積極的に取り組むことができる b:歌詞の意味や楽曲の背景を理解し、表現に結び付けようとする。 c:表現に応じて発声方法や音色を変化させようとする。 d:他の生徒の演奏を聴き、自らの表現との違いや技能の習得に結び付けようとする。	観察 演奏表現 感想シート 相互評価

	ギターアンサンブルに挑戦	【器楽】 上を向いて歩こう メリーさんの羊	○	○	○		a: 新しい奏法や、ハーモニーを楽しみながら積極的に取り組むことができる。 b:譜面に示された音価や記号にから楽曲のイメージを感じ取り演奏することができる。 c:自分以外のパートの音を聞き、よりよいハーモニーをつくるための注意を払いながら、演奏する技能を身につけている。	観察 演奏表現 自己評価
	楽譜を読み、作ってみる	【楽典】 読譜のための基礎知識の確認 【創作】 楽典の知識を使い、リズム創作をする。	○	○			a:楽典の知識を積極的に身につけようとする。 b:学んだ知識を表現につなげようと工夫し、意識的に表現しようとする。	観察 提出課題の内容 演奏表現
3学期	和楽器の世界に触れよう	【器楽】 箏の奏法 もののけ姫	○	○	○	○	a: 楽器の仕組みについて理解し、独特の音色を感じ取りながら、取り組むことができる。 b:譜面に示された正しい奏法により音色の変化を感じ取り、特徴を生かした表現ができる。 c:箏の音色や奏法を生かした技能を身につけ、表現しようとする。 d:日本の伝統音楽について、それぞれの楽器の持つ音色を味わって聴いている。	観察 感想シート 演奏表現
	西洋音楽の鑑賞	【鑑賞】 ベートーヴェン:交響曲第9番第4楽章 音楽史	○			○	a:西洋音楽と日本音楽の違いを味わって聴いている。 b: ２学期に学習した「Joyful、Joyful」と対比して鑑賞する。 d:楽曲の特徴を感じ取ることができている。	提出課題の内容 鑑賞文

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。